

放課後等デイサービス真愛 自己評価結果（公表）

公表：令和8年2月27日

事業所名 放課後等デイサービス真愛

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		活動内容によってはテーブルやいすの配置を変えるなどスペースを有効活用するように工夫している。	より充実した支援環境を目指し、活動内容やスペースの活用法について継続的に工夫を重ねていく。
	2	職員の配置数は適切である	6		職員の配置基準を満たしている。	適切な職員配置を維持し、連携を深めながら支援の質向上に努める。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		6	フロア内に段差があるため職員による見守りや声掛けを行い、安全に移動できるように配慮している。	構造上の段差がある箇所について、現行の見守り体制を活かしながら安全な利用環境の確保に向けた改善を検討していく。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		日々のミーティングや業務日誌で情報共有を図っている。	ミーティング議事録や業務日誌を作成することで休みの職員や非常勤の職員などがいつでも見ることができるようになっている。よりよい環境を作るためにさらなる発展に努めたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		保護者向け評価表やノートを活用し、保護者の意見を把握し改善に努めている。	今後も保護者向けの評価表やノートを活用し、保護者の意見の把握に努めていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6	現在行っていない。	必要に応じて今後検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		全職員が研修に参加できるように機会を確保している。	その場で参加できなかった非常勤職員にも研修の詳細が分かるように議事録を残し、周知している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		定期的にあセスメントを行い、保護者や相談支援員から情報を集めている。	アセスメントを適切に行い、保護者や利用者のニーズに合わせた計画を作成できるように努めていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		統一したアセスメント用紙を使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		複数の職員が意見を持ち寄り、活動プログラムを立案している。	今後も児童発達管理責任者の下、複数名での立案、実施をしていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		月に1回は新しい活動を取り入れるようにしている。	活動が固定化されないように複数名での活動の立案、実施をしていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		長期休暇では時間をかけて取り組める課題を設定している。	今後も子どもたちの状況に応じて課題を設定していく。

放課後等デイサービス真愛 自己評価結果（公表）

公表：令和8年2月27日

事業所名 放課後等デイサービス真愛

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		子どもの成長やその時の状況に応じて計画を作成している。	子どもの変化に目を向け、特性を考慮しながら個別活動・集団活動を組み合わせた計画の作成に努めていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		支援開始前にミーティングを行い、支援の内容や役割の打ち合わせを行っている。	今後もミーティングでの話し合いを行い、子どもたちへの支援がより良い方向にすすむようにしていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		日々個人の記録を行い、振り返ることができるようにしている。	翌日のミーティングで振り返りを行い、職員間での情報共有を今後も継続していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		利用者1人1人に対して関わった職員全員で記録をするようにしている。	事実ベースでの記録を心がけて記録を残していく。また、記録から支援の検証や改善を努めていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		6か月に1度、実施している。	今後もモニタリングをしっかりと実施し、児童に対して適切な計画を作成、提供できるように努めたい。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6		季節を感じる活動や、基本的な日常動作を取り入れた活動を実施している。	厚生労働省のガイドラインに記されている基本活動指針として、今後も支援を継続していきます。
関係機 関や保 護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		子どもの関りが長く、状況に精通した者が参画するようにしている。	今後も引き続き子どもに精通した者が参画していきたい。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6		学校での情報は保護者を通じて行っている。送迎時は1日どんな様子だったかを先生から聞くようにしている。	学校での様子はこちらから見えにくいので、しっかり送迎時に先生とお話しし、情報の共有に努めていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		6		医療的ケアが必要な子供や重症心身障害の子どもが現在利用していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6		必要があれば就学前に使用していた事業所と情報共有を行っている。	今後も必要があれば対応していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6		学校を卒業する前の担当者会議で情報共有を行っている。	要望があれば速やかに対応していく。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5	現在行っていない。	必要があれば連携し、対応していきたい。	

放課後等デイサービス真愛 自己評価結果（公表）

公表：令和8年2月27日

事業所名 放課後等デイサービス真愛

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6	積極的に障がいのない子どもと活動する機会は設けていない。	現時点で保護者の方から交流を望んでいる声はあがない。要望があれば検討したい。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		6	参加していない。	今後検討していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	6		デイ誌や連絡ノート、送迎時に子どもの状況を日々伝えている。	今後も保護者と情報共有を行うとともに、寄り添った支援を行ってけるようにしていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	5	保護者からの相談があれば、事業所内で話し合い、アドバイスを行っている。	今後も保護者の困り、不安などを和らげるためにも、気持ちに寄り添った支援を行っていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約締結時に行っている。	今後も丁寧な説明をしていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		ご相談があれば保護者の気持ちに向き合い対応している。	今後もご相談があれば真摯に対応していきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	現在行っていない。	要望があれば検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		迅速かつ丁寧に対応している。	今後も申し入れに対して職員間でよく話し合い、迅速かつ適切に対応していきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	活動予定表を毎月配布している。	今後も活動予定表で発信していく。
	35	個人情報に十分注意している	6		個人情報が載っている文書は鍵付きの書庫に保管している。また、破棄する際はシュレッダーを使用している。	日々の様子をプリントアウトして家庭に配布している。写真を撮ることも事前に保護者の承諾をいただいている。今後も引き続き注意をしていきたい。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		障害特性を職員間で話し合い、共有した後に意思の疎通や情報伝達の統一を行っている。	引き続き利用者のご家族に対しても積極的にコミュニケーションをとるようにし、またコミュニケーションをとりやすいような配慮、環境づくりを行ってきたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6	現在行っていない。	要望があれば検討したい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		各マニュアルを作成し、保護者には契約時、職員には研修などで読み合わせを行っている。	今後も継続していきたい。

放課後等デイサービス真愛 自己評価結果（公表）

公表：令和8年2月27日

事業所名 放課後等デイサービス真愛

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		年に1度、避難訓練を行っている。	本年度も地震を想定した避難訓練を行い、実際に避難場所へ避難した。今後も継続していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		研修に参加し、職員の理解が深まるようにしている。	全職員へ向けて社内研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		身体拘束の研修を年に1回実施し、職員全体で確認をしている。また放課後等デイサービス計画に記載、保護者への説明も事前に行っている。	現時点で身体拘束にあたる事例はない。今後そのようなことが必要になる場合を考え、職員全体で研鑽に努める。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		指示書や保護者の申告に基づいて対応している。	今後も継続して対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ヒヤリハット事例を事業所内で検討し、作成、共有まで行っている。	怪我や事故の危険性を予測できる場面ではヒヤリハットを作成し、情報共有を徹底して事故を未然に防ぐことに努めたい。